



日本共産党市議会議員(川崎市)

かたやなぎ 進

NEW!

LINE公式
はじめ
ました



片柳すすむ
ブログ



●発行：日本共産党
川崎市議会議員団
川崎市宮本町1
市役所第二庁舎7階
TEL 200-3360
FAX 245-4140
その他の連絡先
TEL 246-6823

片柳すすむ市政報告

日本共産党
代表質問

市民の命と暮らしに冷たい予算

臨海部大企業や大型開発に湯水のようにつぎ込む市政の転換を

今月号の内容

- ▼1面
 - ①市民の命と暮らしに冷たい予算
 - ②4月から富士見公園再編工事
 - ③住民要望一渡田4・渡田東・小田栄
- ▼2面
 - ①市民の声/子ども医療費助成拡充
 - ②文教委/ぜん息医療助成を守れ
 - ③市立病院夜間工事 住民に配慮を
 - ④JFE-雇用守れ/跡地利用検証
 - ⑤コラム/軍拡より教育福祉こそ

2月27日の本会議で日本共産党は新年度予算案について代表質問を行いました。市税収入は法人市民税が前年比38億円増などで過去最大の381.2億円(前年比14.1億円増)で、財政力指数も政令市トップと極めて優良。減債基金残高は277.2億円(他市と比べ過大に積み立てています。日本共産党はこうした財政

「行革」の名で削減・見直し

- 休日急患診療所
- 市営バス路線
- 障害者施設運営費
- 重度障害者医療費補助
- ぜん息患者医療費助成

代表質問
死に直結するぜん息
医療費助成制度を守れ

2月13日から3月17日までの予定で川崎市3月議会が開催されています。日本共産党は2月27日代表質問を行い、2024年度予算案などについて質しました。

を活用し、給食費の無償化や18歳までの医療費無償化、特養ホームの新規整備等を求めましたが、いずれも行おとしませんでした。市が成人ぜん息と小児ぜん息の医療費助成制度の廃止の方向を示したことに對

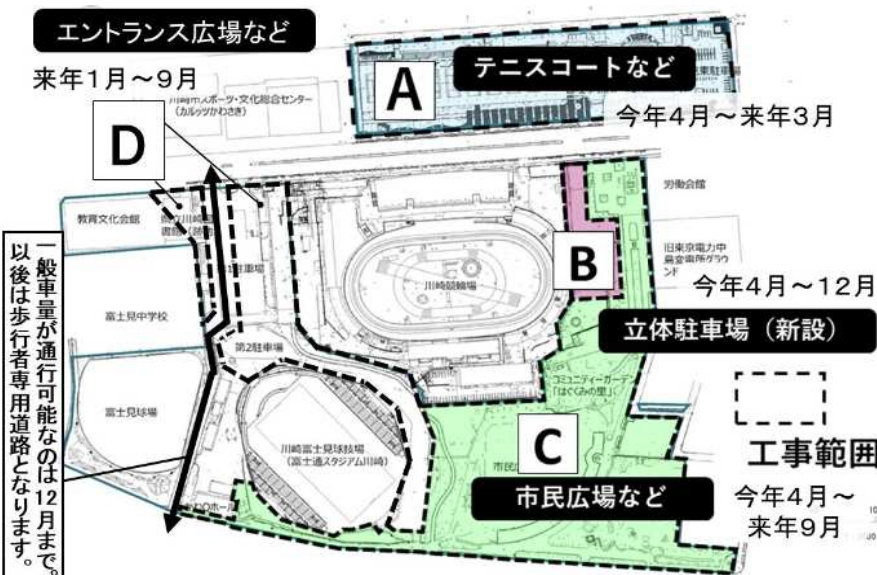
4月、富士見公園再編工事

富士見公園の再編整備工

事が4月1日から始まりま

テニスコートは来年4月、芝生広場は10月オープン予定

し、日本共産党は「ぜん息は死に直結する疾患だという認識はあるのか、廃止は撤回を」と質問。市長は命に関わるかの認識は「必ず、国の方向性にそぐわない」と判断した、と強弁。日本共産党は、市民の命と暮らしには冷たい一方で、臨海部の大企業や大規模事業などには湯水のように使う予算案だと指摘しました。



設置され公園の利用はできなくなります。仮囲いがなくなくなります。■A区域は、テニスコートと相撲場に加えクラブハウス(トイレ・シャワールーム・更衣室など)の整備が2024年3月末まで予定されています。■B区域は、今年12月末まで駐車場工事を予定。

■C区域は、障がいのある子どもも含めすべての子どもが遊べる広場、芝生広場、アメニティ施設(トイレ・おむつ替えのできる施設)の工事が、2024年9月末まで予定されています。■D区域は、現在は駐車場と道路として利用されていますが、来年1月以降は歩行者のみの通行(富士見中学・富士通スタジアムへの導線は確保されます)とな

り、車は通れなくなります。この区域は、夏にはイベントプール会場となるエントランス広場、パークセンター(更衣室、トイレ、シャワールーム)が整備されます。■教育文化会館は、2025年4月から解体、26年度に多目的広場の整備工事が行われます。フットサルなどのスポーツができ、富士見中学のグラウンドとしても使用可能になります。

住民要望実現
渡田第二公園
砂場シーソー改善

砂が入れ替えられた砂場

渡田第2公園の砂場の砂の入れ替えが行われました。近隣の保育園の方から「ゴミも多く子どもケガが心配」との声が寄せられていました。シーソーの交換も進んでおり、4月から使用開始の予定です。

小田栄1〜渡田4 道路補修
渡田4丁目と小田栄1丁目間の道路について「道路の穴に気付かず突っ込んだ。もう少しで大けがするところでした」と修繕の要望が寄せられていました。

■C区域は、障がいのある子どもも含めすべての子どもが遊べる広場、芝生広場、アメニティ施設(トイレ・おむつ替えのできる施設)の工事が、2024年9月末まで予定されています。

渡田東町にお住まいの方から「田島町との間の交差点で自転車と歩行者が交錯してしまい危険」との声が寄せられました。要望したところ道路標示が新設されました。

道路標示が設置



R・Hさん
(新川通在住)

「子育てしてて良かった」と言える街を

4歳の息子の子育て中です。起床に始まり、保育施設への送り迎え、ごはん、入浴、就寝。大忙しの毎日ですが充実しています。息子から新たなことが出てきた瞬間の嬉しさ。親の教育のあり方も、探求に次ぐ探求の日々です。

もちろん体調を崩すときも。安心して医者にかかれるのは小児医療費助成が大きいです。そして今年の秋からは対象が中学卒業時まで拡充することになりました。要求を出し声を上げることの大切さ。

議会でも実現まで粘り強く取り組む片柳すすむさんに今後、今度の子どもの医療費助成は18歳まで拡充し「子育てをして良かった」と言える街づくりを期待します。

文教委 ぜん息医療費助成守れ 市は廃止の根拠示せず

2月8日の文教委員会で「アレルギー疾患対策の今後」の方向性(案)への意見募集が議題になり、成人ぜん息・小児ぜん息の医療費助成の廃止について議論されました。

片柳市議は、地域医療審議会の答申は「助成は必ずしも必要のない生物学的製剤など高価な薬剤の使用…を助長する懸念はないか」などと述べていることを紹介し、市の『視占』にもほぼ同様の文章が載っていることを指摘。「市は答申と同じ考えなのか」と質問しましたが、担当者は「あいまいな回答に終始。」

次に片柳市議が「医療費助成が高額な薬の使用を助長している」というが、他に市に比べ一人当たりの医療費が多いなどのデータはあるのか」と質問しましたが、担当者は「そのデータはない」と回答しました。



最後に片柳市議は「医療費助成が廃止されたら毎回1万円以上のお金を払う診察は受けられない。また『命綱』との声(本紙3月号参照)を紹介。「命綱の制度を廃止する根拠を示せないのなら廃止の方針こそ改めるべき」と強く求めました。

代表質問

JFE高炉休止で失業 探しても仕事がない…

市のアンケートで44%の下請企業が「高炉休止後の業務の扱いを聞いていない」と回答しており、このまま高炉休止を迎えれば倒産や大量失業に直面すると指摘。JFEに最終下請まで仕事の見通しを示させよ、と市に求めました。

JFE関連事業所で働く方の「大学生と高齢の親がいる。必死になって再就職先を探している」、別の40代の息子がJFE関連企業で働いているという男性の「小学生の孫二人を抱えて、息子は必死に職を探しているが次の仕事が見つかからない。不安でならない」などの声を紹介。合同企業面接会の早期開催を求めました。

しかし、経済労働局長は「高炉休止の時期や採用スケジュールを踏まえる」と面接会早期実施に背を向けました。

代表質問

JFEの広大な跡地利用 過去の市費投入検証を

JFEの高炉休止に伴い400畝の跡地利用が問題になっています。市は水深パーク、「空飛ぶ車」の発着場、大規模公園などを検討しています。殿町のいすゞ自動車工場の跡地利用の際に、市は「先端

いすゞ跡地の場合 (殿町・キングスカイフロント)

市の見込み	実際は…
■市場創出額 14兆円	■税収増 5300万円
■雇用創出 23万人	■就労者 5000人

企業の誘致で市内中小企業の仕事につながる税源培養になる」と、市場創出額14兆円、雇用創出23万人などを見込んだものの、実際には就労者5千人、市の税収増はわずか年間5300万円程度。日本共産党は代表質問で「巨額の市費投入を検証してから、JFEの跡地利用をするべき」と追及しました。

一般質問

老朽化した橋・歩道橋 早期の補修・整備を

片柳市議は12月議会の一般質問で橋と歩道橋の老朽化について質問。「構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期の措置を講ずべき状態」



国道中島歩道橋 今後鋼床版などの補修が予定されている

とされる「早期措置段階」であり、工事未着手の橋が川崎区内に2本、同様の歩道橋が6本あると明らかにしました。

No.92 片柳すすむ 日進月歩



「軍事費の2倍化」ではなく 教育・福祉・平和産業こそ

岸田政権は、「敵基地攻撃能力」を保有すること、今後5年間で43兆円を軍事費につぎ込むことなどを閣議決定しました。共産党市

議団は、川崎市3月議会にこれらを撤回する意見書を提案しています。

戦後の日本は侵略戦争を起したことを反省し「戦力を持たない」と決め、その代わりに教育や福祉、平和産業を育て「国際社会の名誉ある地位をせめたい」としました。これが日本の出発点です。これを知ったときは本当に感動しました。

その原点を投げ捨て「軍事費2倍化」の社会になれば、地方自治体の「市民の暮らしを守る」という役割が果たせなくなり、全力で立ち向かう決意です。

これらの橋・歩道橋の対策について建設緑政局長は「扇町跨線橋は詳細設計を23年度に、扇橋は24年度以降に予定」「22年度に鋼管通歩道橋と田町歩道橋を補修。23年度以降、大島歩道橋は橋面など、労働会館前歩道橋は主桁、川中島歩道橋は横桁など、国道中島歩道橋は鋼床版などの補修を予定」と述べました。

さらに片柳市議は築50年以上の140橋、建設年度不明のものは309橋などについて、「市民生活を守るインフラ整備を」と求めました。